

第 1 章 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

本市の少子化について、こども・若者の意識や生活実態等の現状と課題を把握・分析し、これまで取り組んできた少子化対策等の効果の検証及び今後の施策等の検討を行うことを目的にアンケート調査を実施しました。アンケート調査の結果はこども計画の基礎資料としても活用します。

2 調査期間

令和6年10月31日（木）～令和6年12月6日（金）

3 調査実施状況

No.	調査対象	対象数	有効回収数	有効回収率
1	こども・若者意識調査（小学生）	4,831	1,276	26.4%
2	こども・若者意識調査（中学生）	4,878	917	18.8%
3	こども・若者意識調査（高校生）	1,500	563	37.5%
4	こども・若者意識調査（独身者）	1,500	320	21.3%
5	こども・若者意識調査（既婚者）	1,500	569	37.9%
6	こども・若者意識調査（子育て中の保護者）	1,500	697	46.5%
7	こどもの生活状況調査（中学2年生）	2,496	1,088	43.6%
8	こどもの生活状況調査（中学2年生保護者）	2,496	1,314	52.6%
9	事業者実態・意識調査（事業者）	1,500	562	37.5%

4 調査方法

（1）こども・若者意識調査（小学生）

①対象者		
市立小学校5年生 2,424人、小学6年生 2,407人 計 4,831人		
②調査項目		
・属性	・経験	・家庭生活、学校教育
・自己認識	・人とのつながり	・学校生活
・居場所	・社会参加	・インターネット
・生活、活動	・将来像	・こどもの権利
③実施方法		
前橋市保護者等連絡システム（すぐえる）で配信し、Webで回答を回収		
④調査期間		
令和6年10月31日（木）～令和6年11月15日（金）		

(2) こども・若者意識調査（中学生）

①対象者		
市立中学校1年生 2,351人、中学3年生 2,527人 計 4,878人		
②調査項目		
・属性	・経験	・家庭生活、学校教育
・自己認識	・人とのつながり	・学校生活
・居場所	・社会参加	・インターネット
・生活、活動	・将来像	・こどもの権利
③実施方法		
前橋市保護者等連絡システム（すぐる）で配信し、Webで回答を回収		
④調査期間		
令和6年10月31日（木）～令和6年11月15日（金）		

(3) こども・若者意識調査（高校生）

①対象者		
住民基本台帳から15～18歳の市民1,500人を無作為に抽出		
②調査項目		
・属性	・経験	・家庭生活、学校教育
・自己認識	・人とのつながり	・学校生活
・居場所	・社会参加	・インターネット
・生活、活動	・将来像	・こどもの権利
③実施方法		
依頼状を郵送で送付し、Webで回答を回収		
④調査期間		
令和6年11月6日（水）～令和6年11月29日（金）		

(4) こども・若者意識調査（独身者）

①対象者		
住民基本台帳から20代、30代の未婚（未婚と推測される方を含む）の市民1,500人を無作為に抽出		
②調査項目		
・属性	・子育て	・こどもの未来
・結婚	・結婚、仕事と子育て、家庭等	・定住性
・妊娠、出産	・少子化対策	・こどもの権利
・子ども		
③実施方法		
依頼状を郵送で送付し、Webで回答を回収		
④調査期間		
令和6年11月13日（水）～令和6年12月6日（金）		

(5) こども・若者意識調査（既婚者）

①対象者		
住民基本台帳から20代、30代の既婚（既婚と推測される方を含む）の市民1,500人を無作為に抽出		
②調査項目		
・属性	・結婚、仕事と子育て、家庭等	・定住性
・結婚	・少子化対策	・こどもの権利
・子ども	・こどもの未来	
③実施方法		
依頼状を郵送で送付し、Webで回答を回収		
④調査期間		
令和6年11月13日（水）～令和6年12月6日（金）		

(6) こども・若者意識調査（子育て中の保護者）

①対象者		
住民基本台帳から20～40代の子育て中（子育て中と推測される方を含む）の市民1,500人を無作為に抽出		
②調査項目		
・属性	・地域とのかかわり	・こどもの未来
・子ども	・結婚、仕事と子育て、家庭等	・定住性
・子育て	・少子化対策	・こどもの権利
③実施方法		
依頼状を郵送で送付し、Webで回答を回収		
④調査期間		
令和6年11月13日（水）～令和6年12月6日（金）		

(7) こどもの生活状況調査（中学2年生）

①対象者	
市立中学校2年生 2,496人	
②調査項目	
・属性	・部活動等への参加
・学習状況	・日常的な生活の状況
・進学希望、展望	・支援など
③実施方法	
依頼状を学校を通じて配布し、Webで回答を回収	
④調査期間	
令和6年10月31日（木）～令和6年11月15日（金）	

(8) こどもの生活状況調査（中学2年生保護者）※（7）の保護者

①対象者
市立中学校2年生の保護者 2,496人
②調査項目
・属性 ・進学希望、展望 ・就労状況 ・日常的な生活の状況 ・子育て ・支援など ・暮らしの状況
③実施方法
依頼状を学校を通じて配布し、Webで回答を回収
④調査期間
令和6年10月31日（木）～令和6年11月15日（金）

(9) 事業者実態・意識調査（事業者）

①対象者
市内の従業員数が5名以上の事業所から1,500事業所を無作為に抽出
②調査項目
・事業所 ・両立支援制度の認知度 ・育児休業制度 ・働きやすい環境整備 ・女性活躍推進 ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進、少子化対策
③実施方法
依頼状を郵送で送付し、Webで回答を回収
④調査期間
令和6年11月6日（水）～令和6年12月6日（金）

5 調査主体

前橋市こども未来部こども支援課

6 報告書の見方

①本報告書内では、調査名称や調査対象区分を、以下の呼び方としています。

No.	調査名称	呼び方
1	こども・若者意識調査（小学生）	小学生調査
2	こども・若者意識調査（中学生）	中学生調査
3	こども・若者意識調査（高校生）	高校生調査
4	こども・若者意識調査（独身者）	独身者調査
5	こども・若者意識調査（既婚者）	既婚者調査
6	こども・若者意識調査（子育て中の保護者）	子育て中の保護者調査
7	こどもの生活状況調査（中学2年生）	中学2年生本人調査
8	こどもの生活状況調査（中学2年生保護者）	中学2年生保護者調査
9	事業者実態・意識調査（事業者）	事業者調査

②本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

③百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合があります。

④複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合があります。

⑤本文、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

⑥回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。

⑦本文中では、調査結果の数値は「％」、比較によるパーセントの差は「ポイント」という単位で表記をしています。

⑧統計数値を考察するにあたっては、傾向をまとめて表現する場合には、おおむね以下のとおりとしています。

例	表現
17.0～19.9％	約2割
20.0～20.9％	2割
21.0～22.9％	2割を超える
23.0～26.9％	2割台半ば
27.0～29.9％	約3割

⑨第3章及び第4章の分析対象は、次のとおり定義します。

章	対象	定義
第3章	高校生	回答者全体から【現在の通学状況】のうち「その他」を除いた者。
第4章	独身者	回答者全体から【婚姻状況】のうち「結婚している（婚姻届を出し、入籍している 又は 事実婚の状態である）」、「結婚したが、死別または離婚している」を除いた者。
	既婚者	回答者全体から【婚姻状況】のうち「結婚したが、死別または離婚している」、「結婚したことがない」を除いた者、又は【子どもの有無】のうち「いる」を除いた者。

